

令和7年度 住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会 開催要綱

1 目的

人口減少社会、地域におけるつながりの希薄化等を背景として、既存の制度だけでは解決できない課題が増えているなか、地域で住民が主体的に地域づくりに関わり、地域共生社会づくりをすすめていくことが求められています。住民参加型たすけあい活動団体は、これまでも制度では対応できないニーズに住民と共に取り組んできており、その意義が今、改めて見直されている状況といえます。

本学習会は、住民参加型たすけあい活動団体のコーディネーターに求められる知識や技術を体系的に身に付けるため、住民参加型たすけあい活動部会の学習会体系に基づき実施します。

2 対象

- ① 住民参加型たすけあい活動部会会員団体のコーディネーター、団体代表者が認める者等
- ② 都内で住民参加型たすけあい活動を実施している団体のコーディネーター

3 定員 各回とも40名程度

4 会場

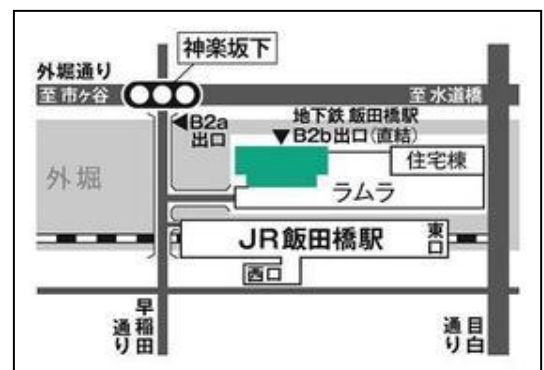
科目3 飯田橋レインボービル 2階C会議室
〒162-0826
東京都新宿区市谷船河原町1-1

JR飯田橋駅西口より徒歩6分
地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
飯田橋駅（B3出口）より徒歩9分



科目4・5 飯田橋セントラルプラザ12階会議室
〒162-8953
新宿区神楽河岸1-1

JR総武線飯田橋駅（西口）より徒歩3分
地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
飯田橋駅（B2b出口）直結



5 学習会の体系

2年間で全科目を履修する体系となっています。1年目に科目1と科目2、2年目に科目3と科目4を隔年で開講し、科目5の時事研修は必要に応じて毎年開講の有無を決定します。

	科目	内 容
R 7	科目3	対人援助技術の基本と実際
	科目4	ケーススタディとケース会議
	科目5	時事研修 クレーム、ハラスメント対策とメンタルケアのポイント

〔参考〕R 6年度に実施済みの科目

	科目	内 容
R 6	科目1	住民参加の理念とコーディネーターに求められる役割・視点
	科目2	アセスメントやモニタリングの重要性とケース記録の取り方
	科目5	時事研修 心に寄り添う話の聴き方～傾聴力を身に付けよう～

6 令和7年度実施科目の内容及び日程 ※今後、変更となる可能性があります。

科目3 令和7年9月10日（水）14：00～17：00

対人援助技術の基本と実際

- 講師／高山 直樹 氏（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授）
- 援助の基本姿勢及び利用者や家族、協力会員等との信頼関係を築き、効果的な支援を実現するコミュニケーション技術について、グループワーク等の演習により体験しながら学習する。

科目4 令和7年10月14日（火）14：00～~~16：30~~17：00

ケーススタディとケース会議

- 講師／梅沢 佳裕 氏（ベラガイア17人材開発総合研究所代表）
- 援助の目標の確認・共有やサービスの調整、利用者の状況の変化への対応など、様々な目的に添った会議の種類や効果的な開き方、会議の場でのコーディネーターの役割、他機関との連携について、講義と演習を交えて学ぶ。

科目5 令和7年11月12日（水）13：30～16：30

〔時事研修〕クレーム、ハラスメント対策とメンタルケアのポイント

- 講師／林田 道子 氏（NPO法人I am OKの会 理事長・臨床発達心理士）
- クレームやハラスメント等への対応の仕方や、そうした問題・トラブルに対する自分自身の心の持ち方などについて、アサーショントレーニングの手法を通して学ぶ。

7 参加費

【部会会員】各回2,000円（税込）

（全3回参加の場合：2,000円×3＝6,000円）

【部会会員外】各回3,500円（税込）

（全3回参加の場合：3,500円×3＝10,500円）

8 申込方法

- ① 別添「コーディネーター学習会参加申込書」に必要事項をご記入の上、**8月15日（金）までに下記宛にメールまたはFAXでお申込みください。**
- ② 恐れ入りますが、参加決定通知は別途お送りしておりません。**定員を超えての申込みがあった場合のみ、8月19日（火）までにご連絡いたします。**
- ③ **8月22日（金）までに参加費（参加者全員の合計金額）を下記の口座にお振込みください。**
なお、お振込みいただいた参加費は原則として返金いたしませんので予めご了承ください。また、振込の控えをもって領収書に代えさせていただきます。

【振込先】 みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金 No. 618495
ﾌｸﾄﾞｷｮｳﾄｼｻｲﾌｳﾝｷｮｳｶｲ
(福) 東京都社会福祉協議会

9 留意事項 ※必ずお読みください。

- ① 本研修は2年間で全科目を開講するものです。コーディネーターに求められる役割や知識について学ぶためには、全科目を受講されることが望ましいとされます。ただし、団体のご判断により、科目を選択して受講することも可能です。
- ② 「科目5 時事研修」は、必要に応じて時勢に合ったテーマで開講することから、開講年度によって内容が異なります。
- ③ 定員を超える申込みがあった場合は、本部会会員団体の方を優先させていただきますので、ご了承ください。
- ④ 申込み後に受講を取りやめる場合には、下記の間合せ先まで必ずご連絡ください。

10 申込み・問合せ先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当（濱野・佐藤(新)・西成）
〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1
Tel 03-3268-7186 Fax 03-3268-7222
E-mail hamano@tcsw.tvac.or.jp